

園芸福祉にいがたのみなさま

平成23年度「園芸福祉フォローアップ講座 in 上越」のご報告

園芸福祉ながおか 円山

平成23年12月3日（土）、上越市の直江津学びの交流館で毎年恒例の「フォローアップ講座」が開催されました。33名の参加者があり、14:00から17:00の3時間、熱気と喜びに満ちた講座となりました。

基調講演に、地元上越でNPOとして障害者とともにドライフルーツ加工事業を行う早津薫さんから、ご自身の取り組みをもとにこれからの地域福祉や障害者の自立の方法についてお話いただきました。福祉作業所として次年度には就労移行支援を手がける予定であり、先年まで行っていたポニーを使つての癒しの事業をどのように絡めていくかなど、さまざまな問題や課題を提起していただきました。



続いて、実践発表事例として「園芸福祉みつけ」の取り組みを代表の渡邊庄衛さんからお話いただきました。渡邊さんご自身が園芸福祉に取り組むことになったきっかけから、見附を中心に活動を広げていった経緯を詳しくご紹介いただきました。事務局の八木さんからも、どのように活動を取りまとめているかをお話いただき、他の地域でもどのようにメンバーをまとめていったらよいかについてのよい参考となりました。



最後に皆さまお待ちかねの『しょくするクリスマスリース』つくりの体験実習を行いました。地元の有志として、春の市民講座や秋の初級園芸福祉士養成講座の開催にご難儀いただき、また昨年来「まちづくり」と園芸福祉を融合させて素晴らしい活動をなさっている保坂清美さんが講師です。

早津さんの作業所でつくった「ドライフルーツ」を飾りに、今年収穫されたサツマイモ

のツルを台座に使っての「食べられるクリスマスリース」ということで、参加者の皆さんはどんなものになるかと興味津々だったようですが、保坂さんからの説明を聞いて実際に作業を始めてみると、その一つ一つの素材のすばらしさ、作業の楽しさに感心しておられるようでした。



お互いに道具を融通しあったり、アドバイスしあったりと、和気あいの雰囲気の中、活動時間はあっという間に過ぎ、それぞれの作品ができあがっていききました。

最後に感想を発表しあい、お互いの健闘(?)をたたえあったあと、記念撮影を終えて講座を終了しました。講座後に、副代表の加藤さんより初級園芸福祉士認定試験のガイダンスが行われ、また今後の活動についてご協力のお願いが伝えられると全日程が終了。できあがったリースを大事に抱え、ご家族にその成果を伝えられるよう、皆さんそれぞれの家路につかれました。

講師の皆さま、地元で講座開催にご尽力くださった皆さま、そしてご参加くださった皆さま(遠くからの方もおられました)、本当にありがとうございました。

